

請 願 番 号	請願第5号
件 名	岐阜市の小中学校の給食費無償化を求める請願
受 理 年 月 日	令和5年6月9日
紹 介 議 員	可児 隆、服部勝弘、田中成佳、堀田信夫、森下満寿美、 原 菜穂子
付 託 委 員 会	文教委員会
<p>(請 願 要 旨)</p> <p>学校給食は、健康で文化的な生活を送り、望ましい食生活の基礎、基本を養い、感謝の心や伝統的な食文化の理解を深める大切な機会である。また、学校給食法や食育基本法などがあり、教育の一環ともなっている。加えて、子どもたちの給食への期待感や、みんなと一緒に食べる楽しさは、かけがえのないものであり、成長期にある子どもたちの健全な成長に大きな影響がある。</p> <p>ところが、昨今の度重なる物価高騰で生活苦になる家庭も多く、子どもの貧困も増えるばかりであり、保護者のみならず教職員からも、給食費無償化を求める声が上がっている。</p> <p>岐阜県では、岐南町、揖斐川町、垂井町、池田町、山県市で無償化されていることに加え、神戸町が中学校のみ無償化を実施しており、その他全国の自治体も急速に給食費無償化に取り組んでいる。</p> <p>自民党も今年3月にまとめた政府への提言で、全国の公立小中学校の給食費の無償化を挙げている。無償化の実施が期待できるが、財源確保や実施時期が明確でない心配がある。</p> <p>以上のことから、下記事項について請願する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国が「給食費無償化」を実施するまでの間、所得にかかわらず、先行して早急に実施すること。 2 国に「給食費無償化」の早期実現を申し入れること。 	
審 議 結 果	令和 5年 6月27日 (火) 不採択